



**隔月開催
無料オンライン講座**
 本法人では、「新聞をつか
 った」「やさしい日本語」研
 究会」によるオンライン講
 座を隔月で開催しています。
 詳細はホームページの「お
 知らせ」にて随時掲載申し
 いますので、こちらから申
 し込みをお願いします。(当
 研究会は24年8月に兵庫東
 NIE推進協議会内に設置
 されましたが、26年4月ま
 り当協会に移設いたしました。
 三は「多文化共生」を持つこ
 どもたちと共に学ぶ教育環
 境作りを支援し、多文化共
 生社会の基盤づくりに取り
 組みます。

法人ホームページ随時更新中

教育と研究 本法人の二本柱

多文化共生とやさしい日本語活用
 日本国際理解教育学会に
 よる第35回研究大会が7月
 4日、拓殖大学文芸教養カ
 バス(東京)で行われ、午
 前中に11の分科会に分かれ
 て70を超える研究・実践の
 発表が行われた。
 本協会代表理事の福田浩
 三は「多文化共生」の橋が
 け「やさしい日本語」の学
 習について発表した。
 福田は初めの20分、「日
 本の高校生における「やさ
 しい日本語」を用いた「やさ
 き新聞」の学習法につい
 て実践報告を行った。報告
 では、兵庫県の日本語教育
 の必要な児童・生徒の増加
 やそれに伴う夜間中学校、
 高校入試の外国籍特別枠に
 も触れながら、外国人と日

本人のコミュニティーの形
 成における「やさしい日本
 語」の必要性について説
 いた。そして「学習につ
 いては、多文化共生」の橋
 がけ「やさしい日本語」の学
 習による「読み解く」は
 がき新聞「やさしい日本語」
 による「多文化共生」とい
 った3つのポイントが重な
 る効果を提示するものであり
 本協会設立のきっかけとも
 なった取り組みである。実
 践の締めくくりに、実践
 に参加した生徒が、自分た
 ちのつたない英語より、本
 語の方が在留外国人の方

には伝わるんだという事
 が分かった」という感想と
 ともに、「言葉にかかわら
 ず、どの様にすれば、より
 相手に伝わるかを場面ごと
 に考えていくことが大事
 切である」と締めくくった。
 10分間の質疑応答では、
 複数の質問が寄せられ、
 「やさしい日本語」の学習
 において特に重点を置くこ
 の法則的な問いには、「文
 法的なところではなく、日

うすればより良く相手に伝
 わるかを重視して」と
 返答。また、今後の展望と
 ついての問いには、「学会
 を含む様々なところで発表
 ・実践報告を行いながら、
 共同研究を構築してい
 る」旨を述べた。
 学会は午後もう行われ、総
 会・シンポジウム・特設
 問題研究・情報交換が行わ
 れた。

論文発表 学年通信教育効果の調査

日本NIE学会発表

本協会代表理事の福田浩
 三が14年間を費やした、校
 内発行通信の教育的効果を
 まとめたものである。対象と
 した「学年通信」は、新聞
 風のレイアウトや四コマ
 画、写真記事、人権・情報
 モラルに関するコラムなど
 を含む独自性の高い通信

で、毎週発行されている。
 調査では、学年通信の受け
 渡し状況、閲覧頻度、紙張
 体とデジタル版の利用状
 況、親学問の会話への影響、
 記事内容への興味関心など
 について分析した。その結
 果、生徒が「保護者」とい
 った「読みやすさ」「一貫性
 が高い」といった利点が支
 持された。



調査対象の学年別通信

兵庫県が生んだNIEの申し子2人がタッグを組んだ！ メディア教育協会NIEs2.0



福田浩三代表理事
元公立高校教師・元大学職員



三好正文理事
元神戸新聞記者、元兵庫県NIE推進協議会事務局長

神戸で誕生

NIE(教育に新聞を)実践をベースに、S
NS(交流サイト)や生成AI(人工知能)な
ど多様なメディアの活用法を対象にした「一
般社団法人メディア教育協会NIEs2.0」が
今春、神戸で産声をあげた。2025年夏、「N
IE全国大会神戸大会」が開かれた地から、
NIEの新たな可能性を探っていく。

代表理事の福田浩三は今春まで兵庫東立
高校などで教師を務め、多文化共生への橋
がけとして、「やさしい日本語」や「はがき
新聞」をNIE授業に取り入れてきた。日本
新聞協会のNIEアドバイザーも務めた。理
事の三好正文は元神戸新聞記者で、昨年秋
まで兵庫東立NIE推進協議会事務局長を務め、
県内外で年間100を超える出前授業・講演
・講演を続けてきた。

新聞の未来をどう描くか、AIとどうわたり
合うか、SNS・強時代の主権者教育や、
新聞を使ったSTEAM教育の進め方は――。
すべてが喫緊の課題だ。元教師と元記者、
どんな化学反応が起きるか、活動はまだ一
歩を踏み出したばかりである。



「水と京都」をテーマにした新聞づくりを学
ぶ児童たち＝2026年6月29日、京都市伏
見区深草田谷町、京都聖母学院小学校

出前授業や講演
 11校団体で実施
 本協会の活動の柱のひとつ
 は、兵庫県内外の教育現
 場などでの出前授業・講演
 だ。神戸新聞記者40年、N
 IEにかかわって10数年の
 体験を生かし、理事の三好
 正文が、今年4月の活動開始
 から11校・団体、計19回を
 こなす。オンラインでもお
 こなす。全国から申し込み
 を受けている。

授業は、小学校では「水と
 京都」をテーマに新聞をつ
 くる。中学校では、長崎へ
 の修学旅行前に平和学習
 と学習や、野外活動やSDG
 Sの体験を新聞にまとめる
 友達とインタビューしな
 して新聞をつくる。など。
 中学教員に「簡単に取り組
 むNIE実践例」を紹介
 する講座もあつた。
 大学では、新聞、情報の
 読み書きや、新聞をつつた
 小論文の書き方、新聞部
 員に関する講座や、取材の仕
 方に関する講座、海外留
 学生向けの防災、減災講座
 をおこなった。
 本協会が目指すのは、「新
 聞を教える」のではなく、



インタビュー取材で話を聞いたり、写
真を撮影したりする生徒たち＝2026
年6月1日、兵庫県西宮市宮前町3、
浜脇中学校

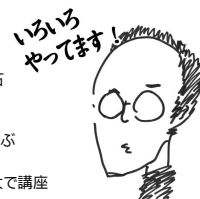
授業は、小学校では「水と
 京都」をテーマに新聞をつ
 くる。中学校では、長崎へ
 の修学旅行前に平和学習
 と学習や、野外活動やSDG
 Sの体験を新聞にまとめる
 友達とインタビューしな
 して新聞をつくる。など。
 中学教員に「簡単に取り組
 むNIE実践例」を紹介
 する講座もあつた。
 大学では、新聞、情報の
 読み書きや、新聞をつつた
 小論文の書き方、新聞部
 員に関する講座や、取材の仕
 方に関する講座、海外留
 学生向けの防災、減災講座
 をおこなった。
 本協会が目指すのは、「新
 聞を教える」のではなく、

SNS・AI時代に情報を正
 しく読み解き、児童・生徒の
 「生きる力」を、児童・生徒の
 だ。出前授業・講演の記事は
 すべて本協会ホームページの
 「ブログ」にアップしている
 ので、一読ください。

災害時の対応について海外留
 学生から話を聞く三好理事＝2026年
 5月12日、大阪府柏原市旭ヶ丘
 4、大阪教育大学柏原キャンパス

メディア教育協会NIEs2.0 これまでの活動

- 3月28日 大阪はがき新聞研究会 実践報告
- 4月20日 【寄稿】「2050年 未来新聞」を作ろう～NIEがつなぐ思考と共生への問い～
- 4月30日 加古川・浜の宮中3年生 長崎への修学旅行前に平和学習
- 5月11日 野外活動の体験、新聞に 神戸・塩屋中から出前授業
- 5月12日 防災テーマに、大阪教育大で出前授業 海外留学生13人が受講
- 5月19日 【寄稿】NIE神戸大会を機に交流広がる 兵庫と鹿児島島の小学校
- 5月20日 新聞・情報の読み書きは 大切な「なぜ」 甲南女子大で出前講座
- 5月21日 「農」を通じたSDGs体験 取材や新聞製作のノウハウ学ぶ 神戸・滝川1年
- 5月25日 日本NIE学会誌 論文「高等学校における学年通信の教育的効果の調査研究」発表
- 6月 2日 インタビュー取材のこつ学ぶ 西宮・浜脇中が「友達新聞」づくり
- 6月 5日 取材から紙面整理まで 関学大新聞総務部で出前講座 新入部員ら25人参加
- 6月 7日 【寄稿】メディアの未来を模索～対話をつなぐ、いままでとこれから～
- 6月27日 ベテランが伝えるNIE入門 大阪でセミナー(取材)
- 6月29日 「水と京都」テーマに新聞づくり 京都聖母学院小4年 出前授業でノウハウ学ぶ
- 7月 4日 多文化共生への橋がけ 拓殖大学にて代表理事が学会発表
- 7月 7日 岡山の高校で大学・専門学校進学指導
- 7月 8日 代表理事 県立高校で文学を語る
- 7月 9日 神港学園で未来の自分をデザイン
- 7月10日 分野別説明に参加 語学国際関係学を語る
- 7月13日 シニア記者、魚の棚商店街で取材して新聞作り 明石
- 7月13日 神港学園で職業人講話 教育という名の人生を語る
- 7月14日 神戸第一高校で進路講話
- 7月15日 神崎高校で就職指導 生徒が自らの表現について学ぶ
- 7月17日 楽しみながらNIE 尼崎・南武庫之荘中で教員研修
- 7月23日 新聞の社説を題材に小論文、どう書く 神戸・流科大で講座



一般社団法人

新聞をはじめとする多様なメディアを教育
 に活用し、情報より「読む力」「考える力」
 「伝える力」を育むことを目的とした団体で
 す。私たちは兵庫東立神戸市を拠点に、従
 来のNIE(教育に新聞を)の枠にとらわれ
 ず、デジタルメディアを含むあらゆる媒体
 を教材として捉え、学校教育と社会教育の
 両方から、デジタルリテラシー・多文化共生
 ・人権について学び合う場をつくり、

紙面から

- 6 神戸で誕生メディア教育協会
- 5 出前授業や講演11校団体実施
- 4 NIEs2.0これまでの活動
- 3 隔月開催無料オンライン講座
- 2 多文化共生「やさしい日本語」
- 1 論文発表通信教育効果の調査

講演依頼

『想い』がもっと
 伝わるように…

本協会への講演・出前授業の依頼、
 その他各種お問い合わせは、
 ホームページの「依頼・お問い合わせ」
 わせ」タブよりお願いします。

<https://nies20.jp>



左上の青い丸と三角は新聞を広
 げている人を表す。新聞はハ
 ートの形に近く、人の視線は法人
 の英数字を置き、遙か先を見つ
 めている。

メディア教育協会 NIEs2.0 - その活動 -

1. 小学校、中学校、高等学校、大学及び多文化共生センター等へのNIEの推進
2. 小学校、中学校、高等学校及び大学等のNIE実践法に関する共同研究
3. 新聞を中心とするメディアに関する調査及び研究並びにその成果の公表
4. 教育現場における「はがき新聞」をはじめとするメディア活用実践の普及及び推進
5. メディアを活用した多文化共生
6. セミナー・講演会、研修会等の企画及び実施
7. 教育現場、自治体、民間団体等との連携及び協力
8. 官公庁等に対する調査及び報告

NIEs2.0

ポスター展示

26年7月30日(木)・31日(金)
 地下2階サロンのにて

広島国際会議場

豊富な知識と経験

メディア教育
 多文化共生教育
 人権教育
 コミュニケーション
 オンライン講座
 その他いろいろ

講演内容はご希望に応じて組み立てます！

NIEを多くの場所で
 今までのNIEの次をゆく
 よりたくさんの人のニーズに
 そんな想いを込めています

BE KOBE

メディア教育 検索

一般社団法人メディア教育協会 NIEs2.0